

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事例概要について】

.....

1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリ
2. 体験した事例の名称	建物火災出場時における確認ミスにより、資機材の破損及びその後の活動障害に繋がった。
3. 体験した事例の中心的要素	事前に活動の打ち合せをしていたにも関わらず、再度徹底した確認を怠ったが為に発生した資機材の破損事故及びその後の活動障害に繋がった。怪我人が出なかったのが不幸中の幸い。
4. 体験した事例の原因・理由	思い込みによる判断が原因である。隊として連携（意思の疎通）が足りていなかった。

【体験した事例の直接的原因について】

.....

1. 体験した事例の直接的な原因	情報入力に問題があった。行動の意志決定に問題があった。
------------------	-----------------------------

【体験した事例について】

.....

1. 発生日時	平成 15 年 9 月 日 午後 12 時頃
2. 発生した当時の天候	晴
3. 発生した活動現場	屋外：住宅密集地
4. 体験した事例の種類	回答者が、他人を負傷させた。
5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	重傷の怪我をしていた（させていた）だろう。
6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）	その他：消防車両の資機材との接触（吸管・スタンドパイプ）
7. 事例体験時の活動	火災現場活動初期、 [木造建物]
8. （7の活動中） どのような作業中に発生したか	水利部署、
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した。

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

○当事者A	年齢[23]歳、勤続年数[3]年、現場経験年数[3]年、階級[消防士]、同様の活動[初めて]、任務[機関員]
○当事者B	年齢[35]歳、勤続年数[15]年、現場経験年数[15]年、階級[消防士長]、同様の活動[初めて]、任務[車長]
○当事者C	年齢[23]歳、勤続年数[1]年、現場経験年数[1]年、階級[消防士]、同様の活動[初めて]、任務[隊員]
その他 (当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過1	A	消防車両の中継口にて圧力を抜いた	
経過2	A	運転席に乗車し、PTOを切った	
経過3	A	サイドミラーで後方の活動を確認	
経過4	A	車両をゆっくりと前進させようとした	
経過5	B	吸管・スタンドパイプを離脱していた	
経過6	C	周囲の状況を見ているだけ	
経過7	A	隊員の姿を見て、更に前進した	
経過8	B	大声で「待て」と指示が出た	
経過9	A	Bの大声でブレーキをかけた	
経過10	B	ブレーキをかけたが、Bは吸管・スタンドパイプが外れる反動で飛んだ	

【その事例発生時の状況について】

.....

○事故の場合：事故が起きたのはどうしてだと思うか？

ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

体力、反射神経等身体能力が優れていた。たまたま、負傷事故にならなかった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	はい
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	はい
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	はい
・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	はい
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	はい

d. 心身の不調があった

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	はい
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった（寒かった）。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	はい

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	はい
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	はい

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

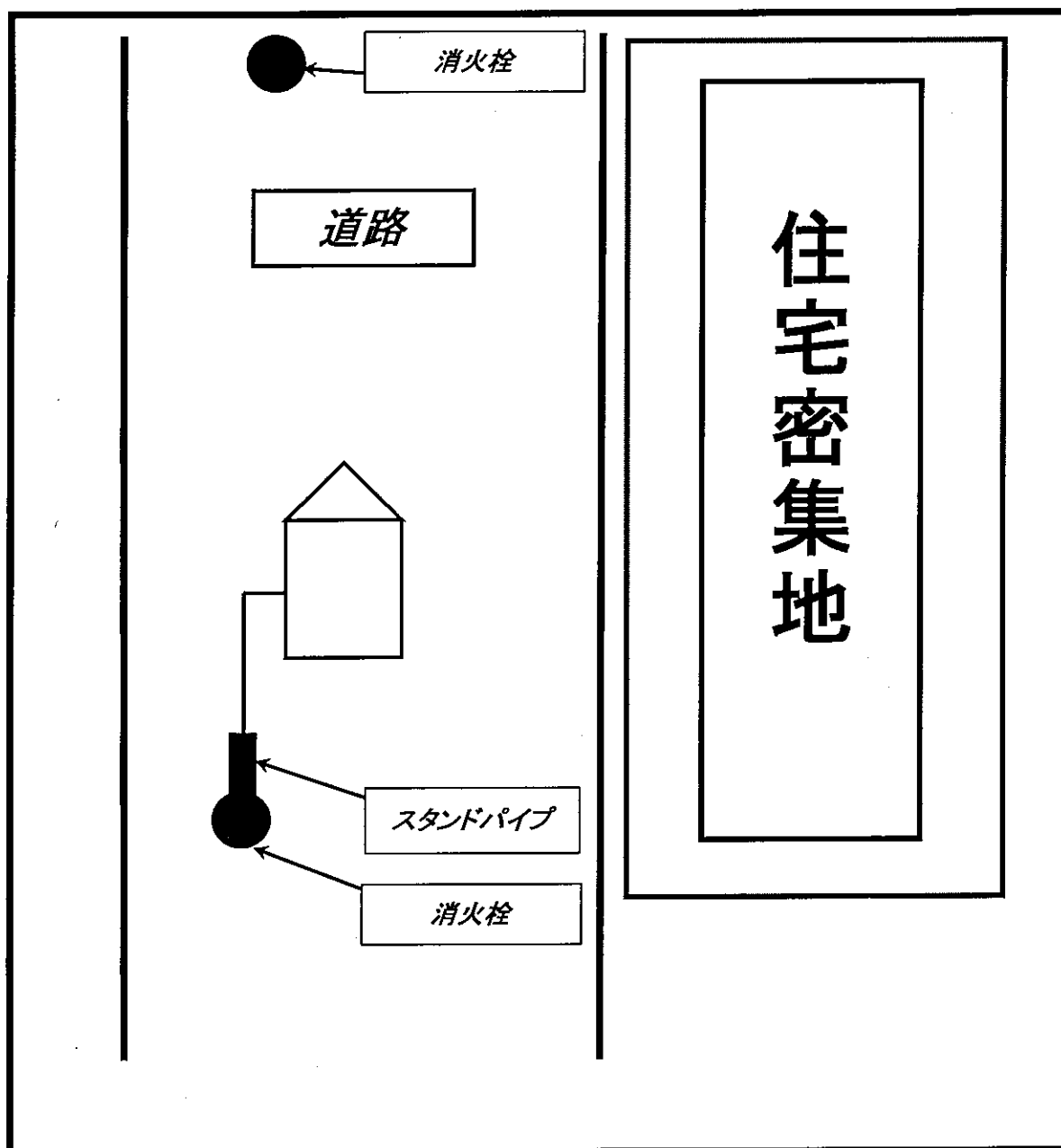
・隊員の連携が不十分だった。	はい
・隊員が不足していた。	はい

○その他

l. その他の理由があった。

はい：思い込みによる判断が招いたミスだった。

概略図



～上記の概略図について～

消火栓に一旦部署したが急遽、前方に位置する消火栓へ再度部署する活動方針となった。消防車の中継口にて消火栓の圧力を抜いたが不十分であった為、吸管とスタンドパイプの離脱が困難な状況となっていた。しかし、消防車の機関員は吸管が離脱されたものと思い込み、消防車を発進させてしまった為、吸管、消火栓媒介金具及びスタンドパイプを破損させ、離脱作業中の隊長を負傷させそうになった。